

# 令和5年度事業計画書

## 一般財団法人福井県産業会館

### 基本方針

コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、国内景気の持ち直しが期待されております。その一方で、企業収益を圧迫するエネルギー、原材料などの価格高騰や円安基調が続いており、海外景気の下振れ、地政学的リスクの影響などの懸念もあり、先行きは不透明な状況が続くものと考えております。

特に今期改定される電気料金や燃料（灯油）価格のコストアップ要因により、前期以上に厳しさを増す事業環境は、両施設に大きな影響を与え、とりわけ福井県産業振興施設（以下「サンドーム福井」という。）の適正な管理運営業務を確保していく上で、極めて厳しい収支状況が見込まれます。

さて、県内では、今期末、北陸新幹線開業が予定されております。現在、官民連携で県内魅力の全国発信、おもてなし機運向上、ヒトやモノの流動促進を図る二次交通の拡充などに向けた様々な取組みが進展しています。

こうした中、当財団としては、顧客目線で最適な提案型の対面営業を展開するとともに、リニューアルしたHPを通じて情報発信の強化に努め、新たな顧客の掘り起こしや催事の複数回利用につなげ、さらに新幹線開業の関連事業などを取り込めるよう取り組んでまいります。また、地元の行政・経済界の協力を得て地域の特色を活かした自主企画事業を進めながら、元気な産業の振興と地域の活性化の寄与に努めてまいります。

施設運営では、顧客との距離感を縮めていくことが重要であり、様々なご意見・ご要望を丁寧に拾い上げながら、安全・安心・快適にご利用いただき、顧客満足度を最大限に高めることができるよう、施設の適切な維持管理や設備・備品の計画的な充足・更新を引き続き進めてまいります。

## I 福井県産業会館・サンドーム福井の管理運営事業

### 1 両施設共通項目

#### (1) 営業活動

ウィズコロナの進展に伴い、催事開催状況がコロナ禍前に戻りつつある中、引き続きリピーター中心に、顧客満足度の向上を第一とした営業活動を次のとおり進めます。

- ・営業力強化を目的に財団内に設置した営業戦略会議において、外部

の実務者も交え、効果的な営業方法を検討し、役職員全員が情報共有して、一体となった営業に取り組みます。

- ・重要なリピーターへの積極的な訪問活動や情報交換に注力するとともに、リピーター・新規利用者を問わず、利用者ニーズを十分に把握し、適切な利用方法などを親切かつ丁寧にサポートする提案型営業を行います。
- ・新幹線開業が予定されていることから、新幹線関連催事などについての情報収集と誘致営業に努めます。
- ・各種試験や入社式会場、就職セミナー、スポーツイベントなど、今後の利用拡大や新たな利用先が見込まれる催事の開拓に努めます。
- ・メディアやイベント企画会社をはじめ、各種媒体からの情報収集を通して、新たなプロモーターや展示会等の開拓に努めます。

## (2) 施設の維持管理

「施設が商品」という認識の下、経年劣化に伴う建物の機能低下を最小限度に留めるため、各施設設備の修繕・更新の時期を調整し、経費の平準化を図りながら、修繕・更新を予防的・計画的に行います。

- ・使い勝手の良さの維持、安全・安心の確保、環境美化等に向け、小まめな不良箇所の点検・補修を実施します。
- ・職員で実施可能な業務は極力直営化を図り、委託業務内容は利用頻度を考慮した仕様書に見直すとともに、総合管理業務等の両施設一括契約を継続します。
- ・電気料金・燃料価格の高騰の影響を極力抑えるため、サンドーム福井ではLED照明への交換修繕を計画的に進める(産業会館は完了済)とともに、両施設における冷暖房について、利用者の意向を踏まえつつ、デマンド監視装置を利用した消費電力量等の節減に努めます。

## (3) 情報発信力の強化

前期にリニューアルしたHPを活用し、最新イベント情報や会館情報など利用者・来場者が知りたい情報を分かりやすく、かつ迅速に提供するとともに、ツイッターなどを活用し、催事情報やお役立ち情報の提供に努めます。

#### (4) 産業観光の情報提供

福井県、デザインセンター、県観光連盟、県物産協会、県内企業等と連携した次の取組を両施設で実施します。

- ・新幹線開業に向け、新たに制作されるポスターの掲示や、パンフレットの配置、PR動画の上映などにより県内の観光情報を発信します。
- ・市町の観光ポスターを定期的に掲示するとともに、展示品を随時入れ替えて県産品の紹介を継続します。
- ・全国大会やコンサートなどの催事において、県産品の販売所を設けるなど、県内企業・工芸産地の知名度向上に協力します。

#### (5) 職員の育成等

- ・職員の営業力向上のための職場研修とともに、来場者の安全を確保するための研修、職員の健康維持のための研修などを適宜実施します。
- ・さらに、接遇や法令改正への対応など業務遂行力向上のための研修への参加を促進するほか、前期に再整備した資格取得支援制度の活用を通じ、施設運營業務に有益な資格の取得を目指す職員を応援していきます。

#### (6) その他

- ・サンドーム福井については、令和5年度末が今期の指定管理受託期間の終期（5か年）となり、福井県において新たな指定管理者の選定が行われますので、これに応募し、選定されるよう、事業計画・収支計画等を十分に検討し、必要な作業を進めます。
- ・「ふくいSDGsパートナー（令和4年6月登録）」について、前期の取組を総括し、更なる発展を図ります。特に（一財）省エネルギーセンター等による専門的なアドバイス（エネ最適化診断等）を活用し、より効果的な省エネ対策に取り組みます。
- ・当財団は、職員の健康管理や健康増進への取組を重要視しております。「ふくい健康づくり実践事業所」と「健康経営優良法人2023」の認定法人として、健康づくり宣言に掲げた各取組を役職員が協力して推進し、関係機関の協力を得て、一層の健康経営につなげてまいります。

## 2 個別施設の状況

### (1) 福井県産業会館

#### ア 利用目標

コロナ禍前まで開催されてきた大会や研修会の一部はWEBで行うことが定着し、この数年で利用件数は減少してきております。また、利用件数が多い自動車ディーラーは、新規利用を掘り起こす一方で、従来からの顧客の一部において利用件数の減少が見られます。

このため、福井市内に所在するという地理的優位性と無柱空間の展示場の特長を活かした営業を継続するとともに、新幹線開業の関連事業などを取り込めるよう関係機関への働きかけを強めてまいります。

また、比較的利用が少ない平日への対応として、企業が企業に対してモノやサービスを提供するビジネスモデルB to Bの誘致、福井市外の新規顧客の掘り起こしに努めます。

このような取組を進め、さらに無線LAN設備や5G通信を活用したイベントの提案・誘致を積極的に行い、収益の確保につなげていくことによって、電気料金など価格高騰による会館の利用料金への影響を必要最小限に留めてまいります。

なお、今後の不透明な事業環境を見込み、当面は前期並みの利用日数を目指してまいります。

（目 標） （ ）内は、前期見込み

・利用日数	1号館展示場・・・	220日（217日）
	2号館展示場・・・	220日（216日）
	本館展示場・・・	155日（151日）
	多目的ホール・・・	165日（163日）

・事業収益 140,000千円（134,114千円）

#### イ 施設等の管理

安全・安心・快適に継続してご利用いただけるよう、法令に基づく定期点検はもとより、施設の長寿命化対策も視野に入れ、次のような修繕・更新を計画的に進めてまいります。

（主な修繕工事等）

・本館冷温水機（真空対策、密封ポンプ）（4,400千円）

- ・ 2号館冷温水機(真空対策、密封ポンプ) (5,600 千円)
- ・ 2号館受変電設備(変圧器更新) (5,100 千円)
- ・ 本館屋上シート防水(北側) (2,500 千円)
- ・ 屋外広告塔電灯工事 (1,700 千円)

## ウ 情報発信

HPについては、イベント内容に係る情報提供の依頼などを通じて、利用者との意思疎通を十分図り、HPで閲覧数の多いイベントスケジュールの発信を継続します。

## (2) サンドーム福井

### ア 利用目標

イベントホールについては、ウィズコロナの時代が到来する中、コンサートは入場人数・声出しの規制もなくなり一定の需要が見込め、コンサート以外の利用も戻りつつあります。しかしながら、電気代をはじめとするエネルギー関係費用の増加が著しく、催事開催に係る事業環境は格段に厳しくなっており、利用者側のコスト縮減に伴う収益減も見込まれますので、短期・平日の利用など新規顧客の開拓も含めて、新たな催事誘致に努めます。

小ホール・管理会議棟（会議室等）については、セミナーや研修会などによるコンスタントな利用が見込めるものの、演劇利用など新たな利用例を発信することにより小ホール利用の増加を図ります。

（目 標） （ ）内は、前期見込み

- ・ 利用日数 イベントホール・・・ 180日（193日）
- 小ホール・・・ 130日（134日）

- ・ 事業収益 164,680千円（175,866千円）

### イ 施設等の管理

安全・安心な利用に向け、法令に基づく定期点検、設備・備品の定期的な更新、施設の長寿命化・老朽化に伴う小規模な修繕工事などを的確に実施し、適切な維持管理に努めます。

引き続き、施設の安定的な稼働に関わるものの、指定管理者では実施できない大規模な設備修繕が適切に実施されるよう、修繕が必

要な箇所について、県への迅速な情報提供を行います。

（主な修繕工事等）

- ・照明LED化（複数か所の工事費合計 5,000 千円）
- ・中央監視制御装置（複数か所の工事費合計 2,000 千円）
- ・無停電電源装置（バッテリーユニット・冷却ファンユニット等）（1,000 千円）ほか

令和5年度において、県による施設の大規模修繕が予定されておりますので、実施計画策定や施工期間の調整、工事進捗等に協力します。※県2月議会（3/3）で予算可決

## ウ 自主企画事業

“ふくいのものづくり”を基本テーマとしたイベントや、スポーツや福祉に関連する県との協力イベント、地域感謝イベントなどをウィズコロナの時代に即した形で実施します。

- ・「おもしろフェスタ in サンドーム福井 2023」 開催予定期日：8月
- ・「はぴりゅうフェスタ in サンドーム福井 2023」 開催予定期日：12月
- ・「おたのしみフェスタ in サンドーム福井 2023」 開催予定期日：1～2月

## エ 情報発信

リニューアルしたHPや公式ツイッターを有効活用し、引き続き、駐車場（空き状況）や天候・交通機関などの情報のほか、グルメ、観光などのお役立ち情報の提供と内容の充実に努めます。